

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約5年間（2012年6月27日～2017年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	円ヘッジコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	円ヘッジコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）では、為替取引を活用して、選定通貨（※）で実質的な運用を行いません。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の通貨運用助言会社の助言に基づき決定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

# 通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）  
通貨セレクトコース（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第42期（決算日 2016年1月13日）  
第43期（決算日 2016年2月15日）  
第44期（決算日 2016年3月14日）  
第45期（決算日 2016年4月13日）  
第46期（決算日 2016年5月13日）  
第47期（決算日 2016年6月13日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ先進国リートα円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型）」は、このたび、第47期の決算を行ないました。

ここに、第42期～第47期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>  
<5736>

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

★通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 資産比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2014年1月14日)	円 9,145	円 80	% 3.5	11,909	% 4.1	% 0.0	% 98.9	百万円 3,622
19期末(2014年2月13日)	9,196	80	1.4	12,298	3.3	0.0	99.0	3,370
20期末(2014年3月13日)	9,217	80	1.1	12,529	1.9	0.0	99.3	3,152
21期末(2014年4月14日)	9,196	80	0.6	12,621	0.7	0.0	98.9	2,825
22期末(2014年5月13日)	9,352	80	2.6	13,282	5.2	0.0	99.5	2,722
23期末(2014年6月13日)	9,303	80	0.3	13,406	0.9	0.0	98.9	2,605
24期末(2014年7月14日)	9,272	80	0.5	13,652	1.8	0.0	98.9	2,573
25期末(2014年8月13日)	9,186	80	△0.1	13,659	0.1	0.0	98.8	2,476
26期末(2014年9月16日)	9,076	80	△0.3	13,512	△ 1.1	0.0	98.8	2,380
27期末(2014年10月14日)	8,889	80	△1.2	13,471	△ 0.3	0.0	99.1	2,232
28期末(2014年11月13日)	9,117	80	3.5	14,369	6.7	0.0	98.9	2,162
29期末(2014年12月15日)	9,079	80	0.5	14,747	2.6	0.0	98.9	1,766
30期末(2015年1月13日)	9,124	80	1.4	15,736	6.7	0.0	98.9	1,676
31期末(2015年2月13日)	9,069	80	0.3	15,969	1.5	0.0	98.8	1,664
32期末(2015年3月13日)	8,796	80	△2.1	15,496	△ 3.0	0.0	98.2	1,595
33期末(2015年4月13日)	8,821	80	1.2	15,833	2.2	0.0	98.9	1,568
34期末(2015年5月13日)	8,410	80	△3.8	15,206	△ 4.0	0.0	98.7	1,495
35期末(2015年6月15日)	8,184	80	△1.7	14,898	△ 2.0	0.0	99.0	1,420
36期末(2015年7月13日)	8,141	80	0.5	14,941	0.3	0.0	99.2	1,375
37期末(2015年8月13日)	8,140	80	1.0	15,266	2.2	0.0	99.2	1,370
38期末(2015年9月14日)	7,705	80	△4.4	14,294	△ 6.4	0.0	98.6	1,269
39期末(2015年10月13日)	7,979	80	4.6	15,319	7.2	0.0	99.2	1,280
40期末(2015年11月13日)	7,841	80	△0.7	15,046	△ 1.8	0.0	98.9	1,226
41期末(2015年12月14日)	7,776	80	0.2	15,064	0.1	0.0	98.2	1,228
42期末(2016年1月13日)	7,714	80	0.2	15,057	△ 0.0	0.0	98.6	1,157
43期末(2016年2月15日)	7,417	80	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	1,122
44期末(2016年3月14日)	7,811	80	6.4	15,893	10.8	0.0	98.3	1,147
45期末(2016年4月13日)	7,868	80	1.8	16,434	3.4	0.0	98.9	1,098
46期末(2016年5月13日)	7,860	80	0.9	16,715	1.7	0.0	98.1	1,087
47期末(2016年6月13日)	7,806	80	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	98.9	1,053

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

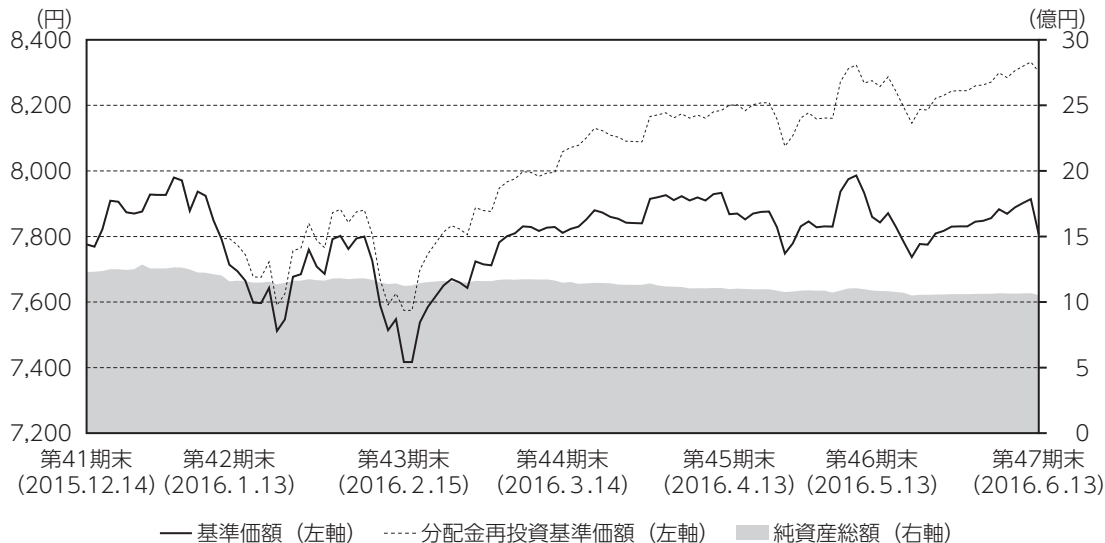
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## ★通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■基準価額・騰落率

第42期首：7,776円

第47期末：7,806円 (既払分配金480円)

騰落率：6.8% (分配金再投資ベース)

## ■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス) (以下「リートα・ファンド (円ヘッジクラス)」) といいます。) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことが寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首)2015年12月14日	7,776	—	15,064	—	0.0	98.2
	12月末	7,980	2.6	15,759	4.6	0.0	95.1
	(期末)2016年 1 月13日	7,794	0.2	15,057	△ 0.0	0.0	98.6
第43期	(期首)2016年 1 月13日	7,714	—	15,057	—	0.0	98.6
	1 月末	7,686	△0.4	14,851	△ 1.4	0.0	98.7
	(期末)2016年 2 月15日	7,497	△2.8	14,350	△ 4.7	0.0	98.9
第44期	(期首)2016年 2 月15日	7,417	—	14,350	—	0.0	98.9
	2 月末	7,715	4.0	15,236	6.2	0.0	97.6
	(期末)2016年 3 月14日	7,891	6.4	15,893	10.8	0.0	98.3
第45期	(期首)2016年 3 月14日	7,811	—	15,893	—	0.0	98.3
	3 月末	7,920	1.4	16,368	3.0	0.0	98.7
	(期末)2016年 4 月13日	7,948	1.8	16,434	3.4	0.0	98.9
第46期	(期首)2016年 4 月13日	7,868	—	16,434	—	0.0	98.9
	4 月末	7,828	△0.5	16,403	△ 0.2	0.0	99.5
	(期末)2016年 5 月13日	7,940	0.9	16,715	1.7	0.0	98.1
第47期	(期首)2016年 5 月13日	7,860	—	16,715	—	0.0	98.1
	5 月末	7,831	△0.4	16,570	△ 0.9	0.0	99.2
	(期末)2016年 6 月13日	7,886	0.3	16,683	△ 0.2	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

## ○先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。当期間の前半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げや原油を中心とするコモディティ価格の下落、中国の軟調な経済指標などさまざまなマイナス要因が重なり下落基調で推移しましたが、各国中央銀行の低金利政策の維持や日銀のマイナス金利導入が追い風となり反発しました。その後、中国の経済指標の改善や原油価格の反発などを背景に投資家心理が好転し、さらに利上げを控えた米国経済の底堅さが安心材料となり、上昇しました。国別の現地通貨建て騰落率を見ると、カナダ（19.4%）、オーストラリア（17.8%）や日本（11.9%）が大きく上昇しました。一方で、英国（△1.2%）やオランダ（△0.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ヘルスケアや産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル/リゾートや住宅などが低調でした。

## ○短期金利市況

日本では、日銀がマイナス金利の導入を決定するなど量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

## ○当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

## ○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ○リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターであるオフィスはおおむねアンダーウエートを維持し、産業施設のポジションを若干増やしました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、商業施設やヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。国別で見ると、オーストラリア、オランダ、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、カナダ、日本、香港はおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第42期首は95.2%、第47期末は83.2%でした。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

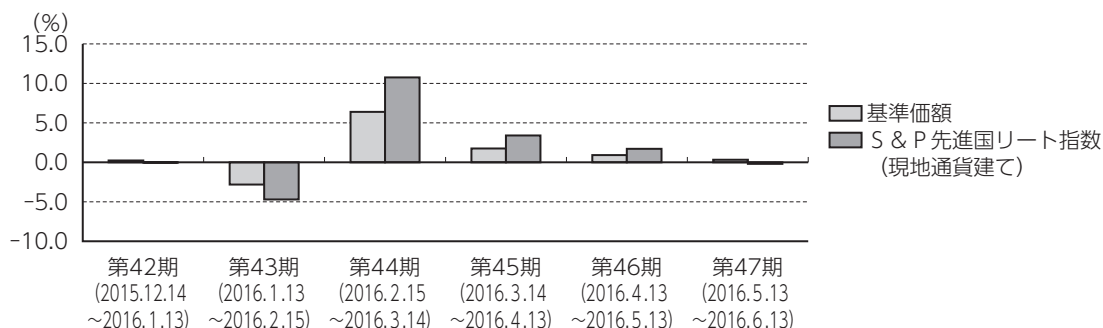
### ○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ80円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年12月15日 ~2016年1月13日	2016年1月14日 ~2016年2月15日	2016年2月16日 ~2016年3月14日	2016年3月15日 ~2016年4月13日	2016年4月14日 ~2016年5月13日	2016年5月14日 ~2016年6月13日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.03	1.07	1.01	1.01	1.01	1.01
当期の収益 (円)	80	80	80	80	79	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	0	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,486	1,488	1,500	1,511	1,511	1,515

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	100.82円	81.41円	91.72円	91.34円	79.16円	83.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	753.42	762.02	765.12	767.62	778.78	781.12
(d) 分配準備積立金	712.73	724.97	723.28	732.51	733.55	730.38
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,566.99	1,568.40	1,580.13	1,591.48	1,591.50	1,595.13
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,486.99	1,488.40	1,500.13	1,511.48	1,511.50	1,515.13

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015.12.15～2016.6.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	52円	0.660%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は7,806円です。</b>
(投信会社)	(17)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.664	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

決算期	第 42 期 ~ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,839.791	123,937	4,275.944	287,133

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

第 42 期				~	第 47 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	589.694	40,000	67	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	4,275.944	287,133	67	

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第42期~第47期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

区 分	第 42 期			第 47 期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	D/C
公社債	百万円 55,442	百万円 210	% 0.4	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	1,873.894	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第42期~第47期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	15,437.076	1,041,045	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	第41期末		第 47 期 末	
	□ 数	千□	□ 数	千□ 評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド		千□ 399	千□ 399	千円 400

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年6月13日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,041,045	% 97.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.0
コール・ローン等、その他	23,679	2.3
投資信託財産総額	1,065,125	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年1月13日)、(2016年2月15日)、(2016年3月14日)、(2016年4月13日)、(2016年5月13日)、(2016年6月13日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,234,737,774円</b>	<b>1,136,396,224円</b>	<b>1,213,411,950円</b>	<b>1,110,973,416円</b>	<b>1,100,277,485円</b>	<b>1,065,125,708円</b>
コール・ローン等	33,195,107	25,979,516	25,562,445	24,027,951	32,320,177	23,679,440
投資信託受益証券(評価額)	1,141,322,477	1,110,015,989	1,127,629,545	1,086,544,746	1,067,556,589	1,041,045,589
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,759	400,719	400,719	400,719	400,719	400,679
未収入金	59,819,431	—	59,819,241	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>76,795,857</b>	<b>13,516,070</b>	<b>65,894,083</b>	<b>12,432,742</b>	<b>12,301,161</b>	<b>12,041,166</b>
未払金	29,909,716	—	29,909,621	—	—	—
未払収益分配金	12,008,808	12,110,723	11,752,348	11,169,580	11,073,308	10,792,832
未払解約金	33,513,533	—	23,029,474	—	—	—
未払信託報酬	1,355,550	1,388,645	1,178,764	1,231,788	1,189,184	1,202,346
その他未払費用	8,250	16,702	23,876	31,374	38,669	45,988
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,157,941,917</b>	<b>1,122,880,154</b>	<b>1,147,517,867</b>	<b>1,098,540,674</b>	<b>1,087,976,324</b>	<b>1,053,084,542</b>
元本	1,501,101,044	1,513,840,446	1,469,043,549	1,396,197,529	1,384,163,548	1,349,104,001
次期繰越損益金	△ 343,159,127	△ 390,960,292	△ 321,525,682	△ 297,656,855	△ 296,187,224	△ 296,019,459
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,501,101,044□</b>	<b>1,513,840,446□</b>	<b>1,469,043,549□</b>	<b>1,396,197,529□</b>	<b>1,384,163,548□</b>	<b>1,349,104,001□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	7,714円	7,417円	7,811円	7,868円	7,860円	7,806円

\*第41期末における元本額は1,580,386,029円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は132,503,814円、同解約元本額は363,785,842円です。

\*第47期末の計算口数当りの純資産額は7,806円です。

\*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は296,019,459円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第42期 自2015年12月15日 至2016年1月13日 第45期 自2016年3月15日 至2016年4月13日  
 第43期 自2016年1月14日 至2016年2月15日 第46期 自2016年4月14日 至2016年5月13日  
 第44期 自2016年2月16日 至2016年3月14日 第47期 自2016年5月14日 至2016年6月13日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	16,499,002円	13,721,332円	13,704,150円	13,581,773円	12,153,806円	12,492,639円
受取配当金	16,496,816	13,719,956	13,704,094	13,581,773	12,154,280	12,493,492
受取利息	2,186	1,376	56	—	—	6
支払利息	—	—	—	—	△ 474	△ 859
(B) 有価証券売買損益	△ 13,168,885	△ 44,961,821	57,067,344	6,752,147	△ 1,080,827	△ 7,824,175
売買益	685,250	81,842	58,445,756	6,796,263	246,593	216,419
売買損	△ 13,854,135	△ 45,043,663	△ 1,378,412	△ 44,116	△ 1,327,420	△ 8,040,594
(C) 信託報酬等	△ 1,363,800	△ 1,397,097	△ 1,185,938	△ 1,239,286	△ 1,196,479	△ 1,209,665
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	1,966,317	△ 32,637,586	69,585,556	19,094,634	9,876,500	3,458,799
(E) 前期繰越損益	△ 300,534,549	△ 309,544,060	△ 342,343,726	△ 269,482,545	△ 255,711,402	△ 249,602,965
(F) 追加信託差損益金	△ 32,582,087	△ 36,667,923	△ 37,015,164	△ 36,099,364	△ 39,279,014	△ 39,082,461
(配当等相当額)	( 113,097,225)	( 115,358,775)	( 112,399,770)	( 107,175,313)	( 107,796,628)	( 105,381,284)
(売買損益相当額)	(△145,679,312)	(△152,026,698)	(△149,414,934)	(△143,274,677)	(△147,075,642)	(△144,463,745)
(G) 合計(D+E+F)	△ 331,150,319	△ 378,849,569	△ 309,773,334	△ 286,487,275	△ 285,113,916	△ 285,226,627
(H) 収益分配金	△ 12,008,808	△ 12,110,723	△ 11,752,348	△ 11,169,580	△ 11,073,308	△ 10,792,832
次期繰越損益(G+H)	△ 343,159,127	△ 390,960,292	△ 321,525,682	△ 297,656,855	△ 296,187,224	△ 296,019,459
追加信託差損益金	△ 32,582,087	△ 36,667,923	△ 37,015,164	△ 36,099,364	△ 39,279,014	△ 39,082,461
(配当等相当額)	( 113,097,225)	( 115,358,775)	( 112,399,770)	( 107,175,313)	( 107,796,628)	( 105,381,284)
(売買損益相当額)	(△145,679,312)	(△152,026,698)	(△149,414,934)	(△143,274,677)	(△147,075,642)	(△144,463,745)
分配準備積立金	110,115,361	109,962,625	107,976,296	103,857,414	101,420,092	99,026,312
繰越損益金	△ 420,692,401	△ 464,254,994	△ 392,486,814	△ 365,414,905	△ 358,328,302	△ 355,963,310

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は後掲の「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,135,203円	12,324,233円	13,474,551円	12,754,054円	10,957,311円	11,282,957円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	113,097,225	115,358,775	112,399,770	107,175,313	107,796,628	105,381,284
(d) 分配準備積立金	106,988,966	109,749,115	106,254,093	102,272,940	101,536,089	98,536,187
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	235,221,394	237,432,123	232,128,414	222,202,307	220,290,028	215,200,428
(f) 分配金	12,008,808	12,110,723	11,752,348	11,169,580	11,073,308	10,792,832
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	223,212,586	225,321,400	220,376,066	211,032,727	209,216,720	204,407,596
(h) 受益権総口数	1,501,101,044口	1,513,840,446口	1,469,043,549口	1,396,197,529口	1,384,163,548口	1,349,104,001口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万口当り分配金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,714円)	(7,417円)	(7,811円)	(7,868円)	(7,860円)	(7,806円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## ★通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 資産比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2014年1月14日)	円 10,738	円 140	% 3.4	11,909	% 4.1	% 0.0	% 98.9	百万円 32,999
19期末(2014年2月13日)	10,400	140	△ 1.8	12,298	3.3	0.0	98.9	31,480
20期末(2014年3月13日)	10,342	140	0.8	12,529	1.9	0.0	99.4	29,928
21期末(2014年4月14日)	10,669	140	4.5	12,621	0.7	0.0	99.1	29,364
22期末(2014年5月13日)	10,966	140	4.1	13,282	5.2	0.0	98.6	29,664
23期末(2014年6月13日)	10,904	140	0.7	13,406	0.9	0.0	99.1	28,635
24期末(2014年7月14日)	10,825	140	0.6	13,652	1.8	0.0	99.5	27,637
25期末(2014年8月13日)	10,551	140	△ 1.2	13,659	0.1	0.0	98.7	26,200
26期末(2014年9月16日)	10,654	140	2.3	13,512	△ 1.1	0.0	98.9	25,862
27期末(2014年10月14日)	10,081	200	△ 3.5	13,471	△ 0.3	0.0	98.7	24,093
28期末(2014年11月13日)	10,716	200	8.3	14,369	6.7	0.0	98.4	26,229
29期末(2014年12月15日)	10,185	200	△ 3.1	14,747	2.6	0.0	98.6	25,649
30期末(2015年1月13日)	10,098	200	1.1	15,736	6.7	0.0	98.2	25,876
31期末(2015年2月13日)	9,527	200	△ 3.7	15,969	1.5	0.0	98.6	24,883
32期末(2015年3月13日)	9,046	200	△ 2.9	15,496	△ 3.0	0.0	99.0	24,100
33期末(2015年4月13日)	9,022	200	1.9	15,833	2.2	0.0	98.5	24,026
34期末(2015年5月13日)	8,420	200	△ 4.5	15,206	△ 4.0	0.0	98.8	21,613
35期末(2015年6月15日)	8,159	200	△ 0.7	14,898	△ 2.0	0.0	98.8	20,817
36期末(2015年7月13日)	7,992	200	0.4	14,941	0.3	0.0	98.9	19,865
37期末(2015年8月13日)	7,597	200	△ 2.4	15,266	2.2	0.0	98.9	18,190
38期末(2015年9月14日)	6,453	200	△ 12.4	14,294	△ 6.4	0.0	98.9	14,766
39期末(2015年10月13日)	6,999	140	10.6	15,319	7.2	0.0	99.3	15,652
40期末(2015年11月13日)	6,830	140	△ 0.4	15,046	△ 1.8	0.0	99.0	15,181
41期末(2015年12月14日)	6,385	140	△ 4.5	15,064	0.1	0.0	98.9	13,747
42期末(2016年1月13日)	5,982	140	△ 4.1	15,057	△ 0.0	0.0	99.0	12,778
43期末(2016年2月15日)	5,500	140	△ 5.7	14,350	△ 4.7	0.0	98.9	11,285
44期末(2016年3月14日)	5,992	140	11.5	15,893	10.8	0.0	99.0	12,123
45期末(2016年4月13日)	5,797	140	△ 0.9	16,434	3.4	0.0	99.0	11,402
46期末(2016年5月13日)	5,674	140	0.3	16,715	1.7	0.0	98.7	11,105
47期末(2016年6月13日)	5,505	140	△ 0.5	16,683	△ 0.2	0.0	98.8	10,613

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

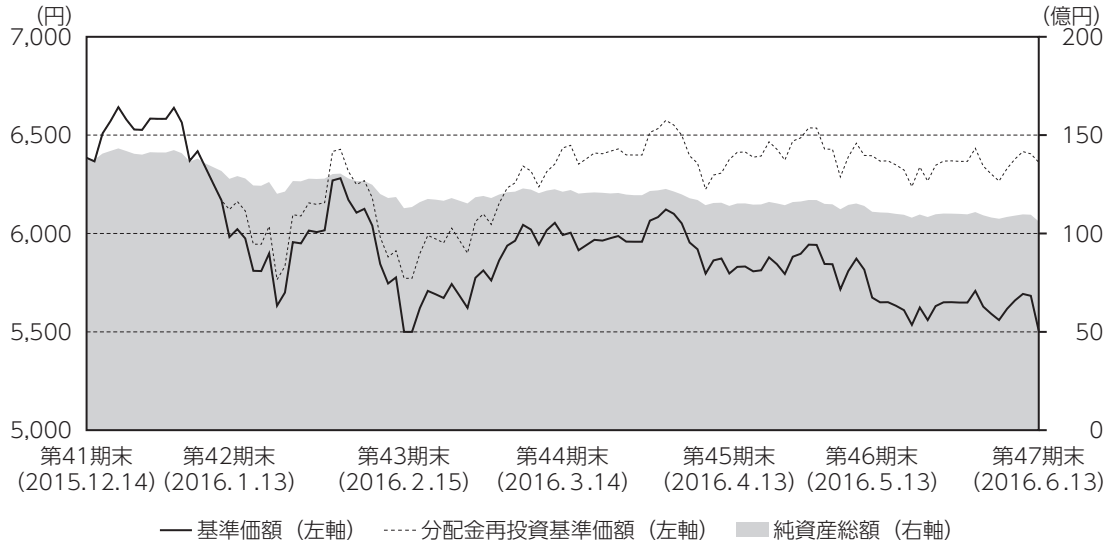
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## ★通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■基準価額・騰落率

第42期首：6,385円

第47期末：5,505円 (既払分配金840円)

騰落率：△0.4% (分配金再投資ベース)

## ■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (通貨セレクトクラス) (以下「リートα・ファンド (通貨セレクトクラス)」といいます。) の上昇が小幅にとどまり、信託報酬の影響を補いきれなかったため、基準価額は小幅に下落しました。リートα・ファンド (通貨セレクトクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り/選定通貨 (※) 買いの為替取引を活用した結果、選定通貨が対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) がプラスに寄与し、小幅に上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第42期	(期首)2015年12月14日	6,385	—	15,064	—	0.0	98.9
	12月末	6,639	4.0	15,759	4.6	0.0	97.2
	(期末)2016年 1 月13日	6,122	△ 4.1	15,057	△ 0.0	0.0	99.0
第43期	(期首)2016年 1 月13日	5,982	—	15,057	—	0.0	99.0
	1 月末	6,016	0.6	14,851	△ 1.4	0.0	99.5
	(期末)2016年 2 月15日	5,640	△ 5.7	14,350	△ 4.7	0.0	98.9
第44期	(期首)2016年 2 月15日	5,500	—	14,350	—	0.0	98.9
	2 月末	5,812	5.7	15,236	6.2	0.0	97.2
	(期末)2016年 3 月14日	6,132	11.5	15,893	10.8	0.0	99.0
第45期	(期首)2016年 3 月14日	5,992	—	15,893	—	0.0	99.0
	3 月末	6,083	1.5	16,368	3.0	0.0	99.0
	(期末)2016年 4 月13日	5,937	△ 0.9	16,434	3.4	0.0	99.0
第46期	(期首)2016年 4 月13日	5,797	—	16,434	—	0.0	99.0
	4 月末	5,942	2.5	16,403	△ 0.2	0.0	98.9
	(期末)2016年 5 月13日	5,814	0.3	16,715	1.7	0.0	98.7
第47期	(期首)2016年 5 月13日	5,674	—	16,715	—	0.0	98.7
	5 月末	5,649	△ 0.4	16,570	△ 0.9	0.0	99.5
	(期末)2016年 6 月13日	5,645	△ 0.5	16,683	△ 0.2	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

### ○先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。当期間の前半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げや原油を中心とするコモディティ価格の下落、中国の軟調な経済指標などさまざまなマイナス要因が重なり下落基調で推移しましたが、各国中央銀行の低金利政策の維持や日銀のマイナス金利導入が追い風となり反発しました。その後、中国の経済指標の改善や原油価格の反発などを背景に投資家心理が好転し、さらに利上げを抑えた米国経済の底堅さが安心材料となり、上昇しました。国別の現地通貨建て騰落率を見ると、カナダ（19.4%）、オーストラリア（17.8%）や日本（11.9%）が大きく上昇しました。一方で、英国（△1.2%）やオランダ（△0.6%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、ヘルスケアや産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル／リゾートや住宅などが低調でした。

### ○為替相場

選定通貨は対円で下落しました。第42期首から2016年2月前半にかけては、世界的な株価の下落や原油安などから市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円で下落しました。しかし2月半ばに入ると、株価や原油価格が持ち直して市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、選定通貨は対円で反転上昇する動きとなりました。4月以降は、日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られ、円高が進行したことなどから、選定通貨は対円で下落しました。当期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・リアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピア、チリ・ペソ、中国・人民元、メキシコ・ペソのすべての選定通貨が対円で下落しました。

### ○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では、2015年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJ Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

**ポートフォリオについて****○当ファンド**

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

**○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）**

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、景気敏感セクターであるオフィスはおおむねアンダーウエートを維持し、産業施設のポジションを若干増やしました。一方で、ディフェンシブ・セクターでは、商業施設やヘルスケアなどについておおむねオーバーウエートを維持しました。国別で見ると、オーストラリア、オランダ、米国をオーバーウエートで推移させましたが、英国、カナダ、日本、香港はおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第42期首は95.2%、第47期末は83.2%でした。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

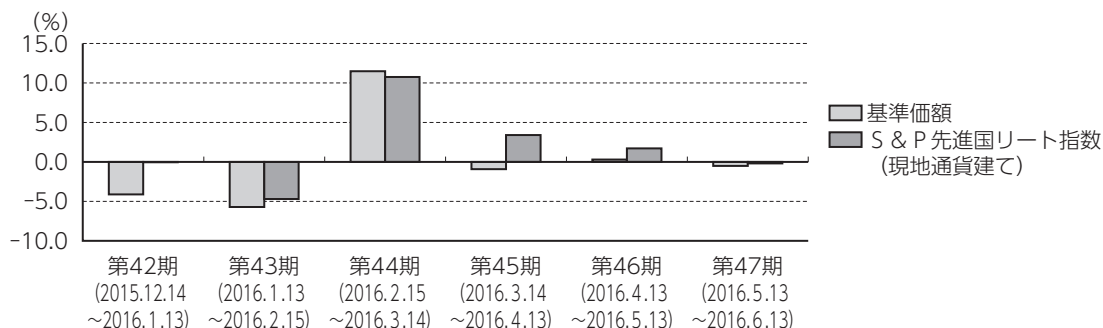
**○ダイワ・マネースtock・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ140円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年12月15日 ~2016年1月13日	2016年1月14日 ~2016年2月15日	2016年2月16日 ~2016年3月14日	2016年3月15日 ~2016年4月13日	2016年4月14日 ~2016年5月13日	2016年5月14日 ~2016年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	140	140	140	140	140	140
対基準価額比率（%）	2.29	2.48	2.28	2.36	2.41	2.48
当期の収益（円）	136	110	116	100	91	103
当期の収益以外（円）	3	29	23	39	48	36
翌期繰越分配対象額（円）	3,817	3,788	3,765	3,725	3,677	3,641

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	136.07円	110.91円	116.38円	100.17円	91.72円	103.04円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,312.40	2,320.11	2,331.10	2,340.21	2,356.93	2,368.78
(d) 分配準備積立金	1,509.15	1,497.54	1,457.68	1,424.99	1,368.95	1,309.20
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,957.63	3,928.58	3,905.17	3,865.38	3,817.62	3,781.03
(f) 分配金	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,817.63	3,788.58	3,765.17	3,725.38	3,677.62	3,641.03

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

## ○当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏ではさらなる量的金融緩和政策が進められることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、英国のEU（欧州連合）離脱懸念による影響などを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

## ○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2015.12.15～2016.6.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	39円	0.660%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は5,940円です。</b>
（投信会社）	(13)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(26)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	39	0.663	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	26,003.879	1,423,025	57,523.587	3,080,709

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

第 42 期				～	第 47 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS(ケイマン諸島)	57,523.587	3,080,709	53	

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年12月15日から2016年6月13日まで）

区 分	第 42 期			第 47 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 55,442	百万円 210	% 0.4	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	1,873,894	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	201,403.896	10,487,503	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年6月13日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	10,487,503	96.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	442,026	4.0
投資信託財産総額	10,929,630	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年1月13日)、(2016年2月15日)、(2016年3月14日)、(2016年4月13日)、(2016年5月13日)、(2016年6月13日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>13,122,111,198円</b>	<b>11,604,284,678円</b>	<b>12,443,272,349円</b>	<b>11,731,802,212円</b>	<b>11,489,267,566円</b>	<b>10,929,630,755円</b>
コール・ローン等	474,702,198	441,068,357	446,825,345	448,427,944	527,183,904	442,026,880
投資信託受益証券(評価額)	12,647,308,810	11,163,116,141	11,996,346,824	11,283,274,088	10,961,983,482	10,487,503,705
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,190	100,180	100,180	100,180	100,180	100,170
<b>(B) 負債</b>	<b>343,324,298</b>	<b>319,165,864</b>	<b>320,131,065</b>	<b>329,067,023</b>	<b>384,197,176</b>	<b>316,303,699</b>
未払収益分配金	299,087,373	287,247,994	283,273,377	275,382,482	273,990,278	269,894,554
未払解約金	28,950,832	16,764,934	24,514,024	40,282,454	97,209,857	33,567,360
未払信託報酬	15,193,467	14,969,050	12,086,098	13,064,873	12,582,335	12,351,781
その他未払費用	92,626	183,886	257,566	337,214	414,706	490,004
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>12,778,786,900</b>	<b>11,285,118,814</b>	<b>12,123,141,284</b>	<b>11,402,735,189</b>	<b>11,105,070,390</b>	<b>10,613,327,056</b>
元本	21,363,383,797	20,517,713,883	20,233,812,675	19,670,177,348	19,570,734,182	19,278,182,453
次期繰越損益金	△ 8,584,596,897	△ 9,232,595,069	△ 8,110,671,391	△ 8,267,442,159	△ 8,465,663,792	△ 8,664,855,397
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>21,363,383,797□</b>	<b>20,517,713,883□</b>	<b>20,233,812,675□</b>	<b>19,670,177,348□</b>	<b>19,570,734,182□</b>	<b>19,278,182,453□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	5,982円	5,500円	5,992円	5,797円	5,674円	5,505円

\* 第41期末における元本額は21,529,869,815円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は1,037,186,191円、同解約元本額は3,288,873,553円です。

\* 第47期末の計算口数当りの純資産額は5,505円です。

\* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,664,855,397円です。



通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第42期 自2015年12月15日 至2016年1月13日 第45期 自2016年3月15日 至2016年4月13日  
 第43期 自2016年1月14日 至2016年2月15日 第46期 自2016年4月14日 至2016年5月13日  
 第44期 自2016年2月16日 至2016年3月14日 第47期 自2016年5月14日 至2016年6月13日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配当等収益	305,982,420円	242,641,532円	237,739,399円	210,194,078円	192,165,380円	211,087,816円
受取配当金	305,971,499	242,629,587	237,738,520	210,194,078	192,173,136	211,098,148
受取利息	10,921	11,945	879	-	5	21
支払利息	-	-	-	-	△ 7,761	△ 10,353
(B) 有価証券売買損益	△ 854,725,045	△ 928,086,971	1,050,457,591	△ 304,313,352	△ 145,177,843	△ 254,584,006
売買益	2,469,199	8,780,652	1,060,769,243	3,889,020	1,493,297	4,321,748
売買損	△ 857,194,244	△ 936,867,623	△ 10,311,652	△ 308,202,372	△ 146,671,140	△ 258,905,754
(C) 信託報酬等	△ 15,286,093	△ 15,060,310	△ 12,159,778	△ 13,144,521	△ 12,659,827	△ 12,427,079
(D) 当期繰越損益	△ 564,028,718	△ 700,505,749	1,276,037,212	△ 107,263,795	34,327,710	△ 55,923,269
(E) 前期繰越損益金	△ 9,628,854,097	△ 10,025,237,210	△ 10,780,848,222	△ 9,455,194,930	△ 9,673,565,284	△ 9,680,181,416
(F) 追加信託差損益金	1,907,373,291	1,780,395,884	1,677,412,996	1,570,399,048	1,447,564,060	1,341,143,842
(配当等相当額)	( 4,940,084,907)	( 4,760,348,963)	( 4,716,718,922)	( 4,603,252,645)	( 4,612,703,718)	( 4,566,581,877)
(売買損益相当額)	(△ 3,032,711,616)	(△ 2,979,953,079)	(△ 3,039,305,926)	(△ 3,032,853,597)	(△ 3,165,139,658)	(△ 3,225,438,035)
(G) 合計(D + E + F)	△ 8,285,509,524	△ 8,945,347,075	△ 7,827,398,014	△ 7,992,059,677	△ 8,191,673,514	△ 8,394,960,843
(H) 収益分配金	△ 299,087,373	△ 287,247,994	△ 283,273,377	△ 275,382,482	△ 273,990,278	△ 269,894,554
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,584,596,897	△ 9,232,595,069	△ 8,110,671,391	△ 8,267,442,159	△ 8,465,663,792	△ 8,664,855,397
追加信託差損益金	1,907,373,291	1,780,395,884	1,677,412,996	1,570,399,048	1,447,564,060	1,341,143,842
(配当等相当額)	( 4,940,084,907)	( 4,760,348,963)	( 4,716,718,922)	( 4,603,252,645)	( 4,612,703,718)	( 4,566,581,877)
(売買損益相当額)	(△ 3,032,711,616)	(△ 2,979,953,079)	(△ 3,039,305,926)	(△ 3,032,853,597)	(△ 3,165,139,658)	(△ 3,225,438,035)
分配準備積立金	3,215,673,542	3,012,958,238	2,901,669,447	2,724,651,722	2,584,669,749	2,452,673,876
繰越損益金	△ 13,707,643,730	△ 14,025,949,191	△ 12,689,753,834	△ 12,562,492,929	△ 12,497,897,601	△ 12,458,673,115

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は後掲の「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	290,696,327円	227,581,222円	235,494,704円	197,049,557円	179,505,552円	198,660,737円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,940,084,907	4,760,348,963	4,716,718,922	4,603,252,645	4,612,703,718	4,566,581,877
(d) 分配準備積立金	3,224,064,588	3,072,625,010	2,949,448,120	2,802,984,647	2,679,154,475	2,523,907,693
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	8,454,845,822	8,060,555,195	7,901,661,746	7,603,286,849	7,471,363,745	7,289,150,307
(f) 分配金	299,087,373	287,247,994	283,273,377	275,382,482	273,990,278	269,894,554
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	8,155,758,449	7,773,307,201	7,618,388,369	7,327,904,367	7,197,373,467	7,019,255,753
(h) 受益権総口数	21,363,383,797□	20,517,713,883□	20,233,812,675□	19,670,177,348□	19,570,734,182□	19,278,182,453□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万口当り分配金	140円	140円	140円	140円	140円	140円
(単 価)	(5,982円)	(5,500円)	(5,992円)	(5,797円)	(5,674円)	(5,505円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド  
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

## 貸借対照表

2015年2月28日

	(円)
<b>資産</b>	
担保付スワップ投資、公正価値（取得価格： 51,263,406,207円）	52,159,029,704
デリバティブ金融商品、公正価値	454,985,549
未収利息	6,774,108
<b>資産計</b>	<u><u>52,620,789,361</u></u>
<b>負債</b>	
デリバティブ金融商品、公正価値	725,038,450
未払報酬代理店報酬	6,774,108
<b>負債計</b>	<u><u>731,812,558</u></u>
<b>償還可能受益証券保有者帰属純資産</b>	<u><u>51,888,976,803</u></u>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	7,725,853,013
円ヘッジクラス受益証券	19,275,629,992
通貨セレクトクラス受益証券	<u>24,887,493,798</u>
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	65,603,480
円ヘッジクラス受益証券	245,703,487
通貨セレクトクラス受益証券	<u>301,684,573</u>
受益証券一口当たり純資産価値：	
ノンヘッジクラス受益証券	117.77
円ヘッジクラス受益証券	78.45
通貨セレクトクラス受益証券	<u>82.50</u>

## 包括利益計算書

2015年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	14,417,877,313
担保付スワップ投資純利益／(損失)	(2,073,708,592)
デリバティブ純損失	(5,628,144,909)
為替純利益／(損失)	55,632,252
<b>投資純利益</b>	<b>6,771,656,064</b>
営業経費	67,898,460
<b>営業経費計</b>	<b>67,898,460</b>
償還可能受益証券保有者帰属純資産変動	<b>6,703,757,604</b>

## デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

満期日	契約数	購入通貨	通貨購入額	売却通貨	通貨売却額	公正価値 (円)
2015年3月18日	2	AUD	37,977,662.13	USD	29,335,217.16	43,257,954
2015年3月18日	2	BRL	111,038,122.45	USD	40,200,112.40	(187,116,292)
2015年3月18日	2	INR	2,514,130,748.85	USD	40,417,410.31	12,879,718
2015年3月18日	2	NZD	43,588,806.23	USD	31,942,792.02	118,086,585
2015年3月18日	2	TRY	98,574,488.29	USD	39,982,814.50	(113,290,447)
2015年3月18日	1	USD	566,953.26	BRL	1,590,239.39	1,631,016
2015年3月18日	1	USD	563,888.65	TRY	1,405,740.98	863,338
2015年3月18日	1	USD	570,017.88	INR	35,558,207.71	(375,699)
2015年3月18日	1	USD	499,531.80	ZAR	5,772,914.56	659,523
2015年3月18日	1	USD	450,498.00	NZD	613,720.76	(1,572,930)
2015年3月18日	1	USD	413,722.65	AUD	531,397.54	(216,444)
2015年3月18日	2	ZAR	408,416,374.19	USD	35,419,558.49	(56,123,096)
2015年3月25日	1	USD	16,220,604.00	JPY	1,929,533,903.00	8,890,317
2015年3月25日	1	USD	7,276,596.87	SGD	9,909,279.59	(570,148)
2015年3月25日	1	USD	3,409,060.98	HKD	26,463,346.64	(374,163)
2015年3月25日	1	USD	648,584.68	CAD	816,885.06	(645,036)
2015年3月25日	1	USD	16,291,781.65	AUD	20,928,883.70	(7,934,166)
2015年3月25日	1	USD	13,654,104.86	GBP	8,831,053.45	1,148,572
2015年3月25日	1	USD	10,063,226.22	EUR	8,867,659.23	13,580,987
2015年3月25日	1	JPY	1,525,448,926.00	AUD	16,494,139.29	(15,187,735)
2015年3月25日	1	JPY	60,728,950.00	CAD	643,384.67	(825,231)
2015年3月25日	1	JPY	942,250,391.00	EUR	6,983,061.99	5,932,076
2015年3月25日	1	JPY	1,278,475,248.00	GBP	6,964,950.93	(7,536,032)
2015年3月25日	1	JPY	681,329,834.00	SGD	7,814,006.95	(4,831,888)
2015年3月25日	1	JPY	319,200,718.00	HKD	20,835,284.00	(1,847,245)
2015年3月25日	1	JPY	13,038,274,017.00	USD	109,760,591.04	(78,536,435)
<b>純評価損合計 (公正価値)</b>						<b>(270,052,901)</b>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2016年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28～29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2015年12月15日から2016年6月13日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
586	国庫短期証券 2016/5/12	4,000,096			
98	5年国債 0.3% 2016/6/20	3,990,332			
97	5年国債 0.4% 2016/6/20	2,860,369			
578	国庫短期証券 2016/3/28	2,000,106			
567	国庫短期証券 2016/2/8	1,299,999			
594	国庫短期証券 2016/6/13	710,011			
564	国庫短期証券 2016/1/25	599,999			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年6月13日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（49,407,244千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年6月13日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 18,460,000	千円 18,460,648	% 37.2	% —	% —	% —	% —	% 37.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年6月13日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	97 5年国債		%	千円	千円	
	98 5年国債		0.4000	2,860,000	2,860,200	2016/06/20
	596 国庫短期証券		0.3000	3,990,000	3,990,239	2016/06/20
	597 国庫短期証券		—	11,560,000	11,560,206	2016/06/20
			—	50,000	50,001	2016/06/27
合 計	銘 柄 数	4銘柄				
	金 額			18,460,000	18,460,648	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

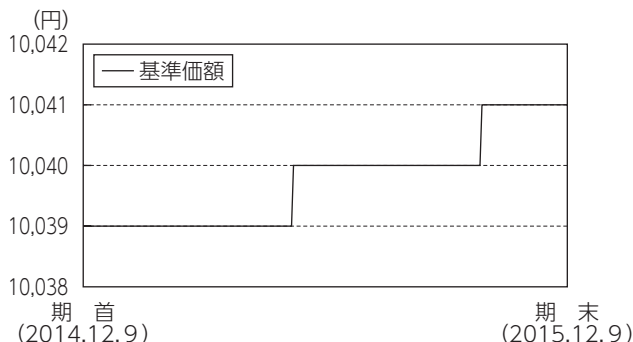
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2014年12月9日	10,039	—	58.5
12月末	10,039	0.0	97.2
2015年1月末	10,039	0.0	71.6
2月末	10,039	0.0	62.6
3月末	10,039	0.0	56.0
4月末	10,039	0.0	58.0
5月末	10,040	0.0	59.9
6月末	10,040	0.0	56.2
7月末	10,040	0.0	57.4
8月末	10,040	0.0	55.6
9月末	10,040	0.0	59.3
10月末	10,041	0.0	71.0
11月末	10,041	0.0	52.1
(期末)2015年12月9日	10,041	0.0	51.6

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,039円 期末：10,041円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続く、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
		千円
国債証券	75,714,577	—
		(43,770,000)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594		
574 国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619		
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
557 国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
520 国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。



■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,420,000	32,424,550	51.6	—	—	—	51.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末		償還年月日
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	債 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	557 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,594	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,612	2016/03/07	
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,123	2016/03/10	
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,640	2016/03/14	
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,448	2016/06/10	
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,576	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,560	2016/09/20	
合計	銘柄数 金額	13銘柄	32,420,000	32,424,550		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
公社債	32,424,550	40.2	
コール・ローン等、その他	48,181,367	59.8	
投資信託財産総額	80,605,918	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
<b>(A) 資産</b>	<b>80,605,918,433円</b>	
コール・ローン等	48,180,683,441	
公社債(評価額)	32,424,550,578	
未収利息	481,238	
前払費用	203,176	
<b>(B) 負債</b>	<b>17,814,126,500</b>	
未払金	17,502,126,500	
未払解約金	312,000,000	
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>62,791,791,933</b>	
元本	62,535,131,959	
次期繰越損益金	256,659,974	
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>62,535,131,959口</b>	
1万口当り基準価額(C/D)	10,041円	

\* 期首における元本額は817,136,908円、当期中における追加設定元本額は80,209,414,361円、同解約元本額は18,491,419,310円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジあり) 112,594,660円、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジなし) 73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンク

ローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド-ロボテック-3,983,667円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース2,996,693円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース2,999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型) 998円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス14,063,387,856円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス2,983,307,364円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数2,081,906,471円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(一2倍) 指数796,936,766円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス37,546,378,604円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(一1倍) 指数2,340,731,717円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス687,286,710円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス278,916,205円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス727,153,136円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジなし904,221円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ4,980,676円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ258,995,899円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ69,726,080円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権首(つちおと) -11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ197,260,107円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ90,940,158円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジリアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジリアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジリアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジリアル・コース

## ダイワ・マネーストック・マザーファンド

3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,041円です。

### ■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項	目	当	期
(A)	配当等収益		4,849,980円
	受取利息		4,849,980
(B)	有価証券売買損益	△	176,333
	売買益		15,667
	売買損	△	192,000
(C)	当期損益金(A+B)		4,673,647
(D)	前期繰越損益金		3,178,379
(E)	解約差損益金	△	74,181,691
(F)	追加信託差損益金		322,989,639
(G)	合計(C+D+E+F)		256,659,974
	次期繰越損益金(G)		256,659,974

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。